

2023年度の活動状況

2023年度は425人（108村）の母子保健推進員を育成し、前プロジェクトのONO SWITCH プロジェクトから累計して607人を育成しました。

また、母子保健推進員は、PHJが選定するのではなく、現地の助産師、補助助産師、村の代表者等が中心となり、村の人から信頼される「この人に推進員さんになってもらいたい」という女性を選定し、PHJは選定された女性一人ひとりと個別に会って、推進員の役割や具体的な活動内容を説明し、本人の同意を確認します。

母子保健推進員育成後は、推進員による活動を開始した村から、助産師、補助助産師、母子保健推進員が参加して開催される地域医療関係者定期会議を実施し、郡内農村部45保健施設の内40施設にて、助産師による保健教育の年間実施計画を策定しました。2023年1月からその実施計画に基づいて村での保健教育が始まり、2023年度は合計477回の保健教育が行われました。



妊産婦の保健教育



母子保健推進員の家庭訪問

<当社が支援するプログラムの進捗状況>

取り組み	目標 (2022年度～2024年度)	2022年度進捗	2023年度進捗	状況
母子保健推進員の育成 ネピドー特別行政区レウエイ郡の各村（農村部）において、保健教育や妊産婦の家庭訪問などを行い、地域住民と保健サービスをつなぐ橋渡し役を担う「母子保健推進員」を育成します	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健推進員を新たに600人育成 保健省が定める2日間の研修を実施 対象地域のすべての村（178村）に、妊婦5人に1人の割合で母子保健推進員を配置 	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健推進員を新たに121人育成 次の育成対象となる401人の候補者を新たに選定 母子保健推進員を養成する現地医療従事者55人に養成者研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健推進員を新たに425人（108村）育成 育成研修は養成者研修を受講した現地医療従事者が実施 	on schedule
	<ul style="list-style-type: none"> 育成した母子保健推進員300人への再研修を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 育成した母子保健推進員を対象にした再研修について、レウエイ郡保健局と準備・調整 	on schedule
	<ul style="list-style-type: none"> 活動のモニタリングおよび指導を毎年実施 	<ul style="list-style-type: none"> 郡内の農村部にて助産師と母子保健推進員が合計150回の保健教育を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 郡内の農村部にて助産師と母子保健推進員が合計477回の保健教育を実施 	on schedule